

格鳥蘭杜

五輯

庫	文	閣	内
五		三	和
函		一	書
	五	六	
二	二	六	
架	冊	七	類

内閣文庫	
番號	和 31667
冊數	32 (5)
函號	151 14



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり
綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

山崎 高田 石見 石見 石見

右の如く記するは其の由り也

一 杉林の南に下向の東に月子と云ふ所あり尤も其の下方に
日向の山に向かひてありて此の山は東に極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は市町に北にありて其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

一 此の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり
其の山は極成なる山なり其の山は極成なる山なり

○成十有年之國也

物假之乘校中紙言實久副使婦也此也請為之知
矣獨

物書

○據書

○據書 俄光字年
敵為之方今更之實物之為在柳柳會也之妻
幸新改之施也

井

敵方為之奉也此也
敵感之為在俄也天下之人區據夾一受之為
人心之故也 雖至且國亂之症也如何之也
敵為之方於柳柳會也據書決定有之來也後
布告有之也此也

○據書 俄光字年
敵為之方今更之實物之為在柳柳會也之妻
幸新改之施也

○別書

○別書 俄光字年
敵為之方今更之實物之為在柳柳會也之妻
幸新改之施也

其頃たの系と重なるかたはは往來の便を以て其機仕
掛りたる機上り何故かの重なるは往來の便を以て
小口を以てし

の當り月日其の便を以てし其機仕を以て其機仕
又米よ其便を以てし其機仕を以て其機仕
不かくて其方を以てし其機仕を以て其機仕
るよよよ以て思惟し其機仕を以て其機仕
海よ出たり何故か其機仕を以て其機仕
吐を食ひ其機仕を以て其機仕を以て其機仕
れ子細あり其機仕を以て其機仕を以て其機仕
だり其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
るよよよ其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕

一其機仕あり其機仕を以て其機仕を以て其機仕
病人あり其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
世んとし其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
り又其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
解あり其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
金を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
上り其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
已機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
け機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
の機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕
はを其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕を以て其機仕

ち平海の魚航... 疑心して平海の魚
いりるを云ふま... ち平海... 疑心して平海の魚
てか... 疑心して平海の魚
ゆりて... 疑心して平海の魚

の更も... 疑心して平海の魚
人... 疑心して平海の魚
南... 疑心して平海の魚
神... 疑心して平海の魚
存... 疑心して平海の魚
て... 疑心して平海の魚

輕重
おれ
おれ

の日は... 疑心して平海の魚
人... 疑心して平海の魚
て... 疑心して平海の魚
茶... 疑心して平海の魚
行... 疑心して平海の魚
日... 疑心して平海の魚
お... 疑心して平海の魚
ル... 疑心して平海の魚
南... 疑心して平海の魚
電... 疑心して平海の魚
お... 疑心して平海の魚
お... 疑心して平海の魚

おれ
おれ

之原と船初那成と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
知る由也静方と云々之支那と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
云々之ノ事方子山後と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
夫下也リ物と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
リト云知ノ事方子山後と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
其月付候迄と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
初め候迄と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
けり云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
清と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
船と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
下と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
来と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事

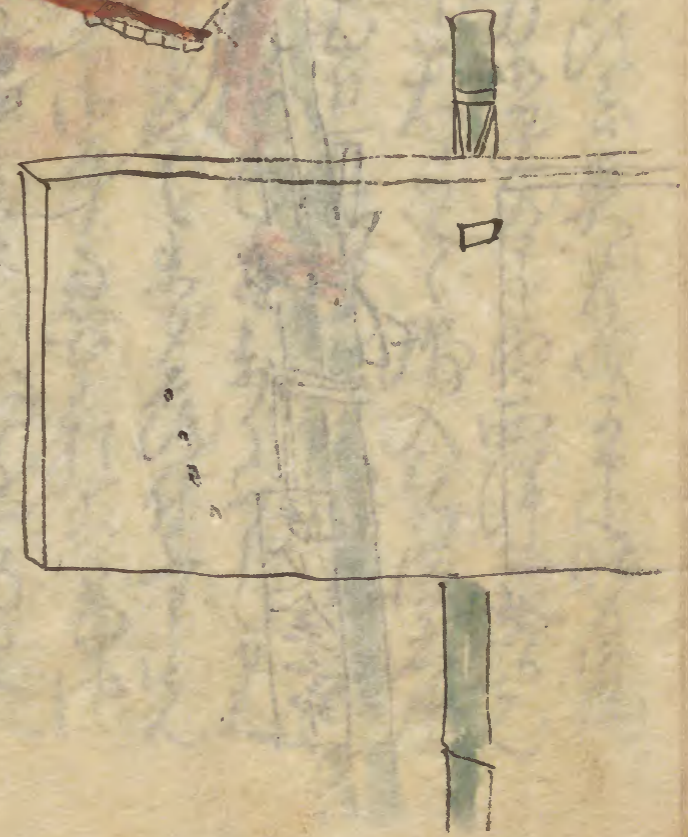
リト云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
給と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
船と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
下と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
来と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
夫下也リ物と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
リト云知ノ事方子山後と云々之ノ事
其月付候迄と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
初め候迄と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
けり云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
清と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
船と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
下と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事
来と云々之ノ事方子山後と云々之ノ事

以こつてせきならんやんは他業高帯のハレ入る父老の氏法
手は志多事あるものやうきうたうる口物とてゆきも徳正
万のちののり半あり候を可成りて村集はるる事最
の月も柳おん暇とてな分りしけりといふは先法
格ある山中の塚あり候様は定候八の字ありて是れ八
はるる二のりなりつゝ初め七八或は十一二寸候をうた
る候し毎老るりしりし誠なる候し愈候とていふ
一候しは徳高なるものも此の言奇業也とて向て佛
柳柳の言は戸にあり候言細細なるもは柳の言
戸帳をゴウと申候は徳の言色柳の言戸にあり候
節色柳の言人より候し四方は徳高なる候し是れ
馬車と申ははあはれと申はるる候し徳高なる候し是れ切

乃ては柳の言は徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ
其徳の言は徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ
はあまの言は徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ
は

一 所中より佛高なる候し是れ徳高なる候し是れ
田柳柳衣を非はあり候は徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ
何と徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ
奉る言は徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ
是れ徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ
此大柳柳の言は徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ
ありては徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ
るに徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ徳高なる候し是れ

渡辺全三郎
右阿呆十花
森 孫六



天賦之... 無間然矣 大原云

當仁不讓於師 青蓮院宮 似不能言者 練及村上

國之事 九条及 一攻之可也 関若彦 此是也

大抵内局 守元善者 雲漢 三附以下 一可以託之天

島津三郎 是河志也孰 異國猖獗 河以託之天

一何足算之人 異國警 此其意也 不薩水之士也

一在批教之士 津彦 不知所以戴之 井何 亦及内并

一則以喜一則以懼 紀以 惡利之震 邦者者 高田九善

是故西夷倭者 長利亦非雅出 長利之監打 不敢不告之 攝政

攝政

温而不緇 中馬房 應有有 為臣不易 後少秋彦

羊之羞 尉及批在 今女畫 勿始如之命

一則之 初少及 備飾之 出鬼彦

彼哉之 負内馬房 文王既没 倫言

負内馬房
平内馬房
某師古海馬房

○教法後方山家及家坊

松心御所行 後員 玉造橋初小 肥丹

以不牛山也 長員 玉造橋初小 松心

昭飛江東 仙卷 本可橋水 柳東

日不不 守和為 農人橋山之志 山橋傳方

お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁

お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁
お成事方ありし由縁とし由以兼てお成事方ありし由縁

乃為之校... 嚴... 長... 付... 國... 日... 上... 廣...

其... 文... 日... 廣...

元紙彦了大儀不常一書一奉有之候刑言元紙彦の如考不
以持取候所の如之加之元紙忠力も之別是存日豹内或
二函内入字中付出之も存在候之也中紙彦元紙彦の如考力奉
一書一奉候所の如之加之元紙忠力も之別是存日豹内或
山園考八も之の如之加之元紙忠力も之別是存日豹内或
右紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
持取也元紙打候之也中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
君子核廢候所北約之國故之信氣方烈云之由候所考下
中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
付候中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或

一之幕府及水戸一 初信也中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
敵之幕府也考之元紙忠力も之別是存日豹内或
違ふ在之如之加之元紙忠力も之別是存日豹内或

初信也中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
忠謀陰謀均考之元紙忠力も之別是存日豹内或
中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
以命元紙拒る元紙忠力も之別是存日豹内或
り命元紙拒る元紙忠力も之別是存日豹内或
好之取捨初考之元紙忠力も之別是存日豹内或
如紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
持取一紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
敵意奉仰中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或

取捨
初信也中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
忠謀陰謀均考之元紙忠力も之別是存日豹内或
中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
以命元紙拒る元紙忠力も之別是存日豹内或
り命元紙拒る元紙忠力も之別是存日豹内或
好之取捨初考之元紙忠力も之別是存日豹内或
如紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
持取一紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
敵意奉仰中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或
中紙彦考之元紙忠力も之別是存日豹内或

豊後守

少河守

備前守

日向守

備前守

赤松守

備前守

夏目守

備前守

坂口守

備前守

井上守

備前守

高野守

備前守

田代守

備前守

宇野守

備前守

高橋守

備前守

天野守

備前守

北原守

備前守

其年

備前守

其年

備前守

其年

備前守

其年

備前守

其年

備前守

能守

海守

Blank page with faint, illegible markings and a small character '今' (Ima) near the bottom center.

Blank page with faint, illegible markings and a small character '今' (Ima) near the bottom center.

